

令和8年上半期 淡路署管内労働災害発生状況(速報版)

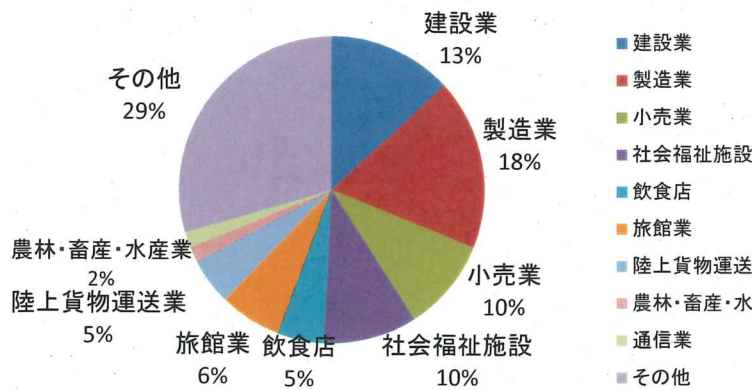
淡路労働基準監督署

表1 業種別前年同期比較 (令和8年(1月～6月)) 速報値

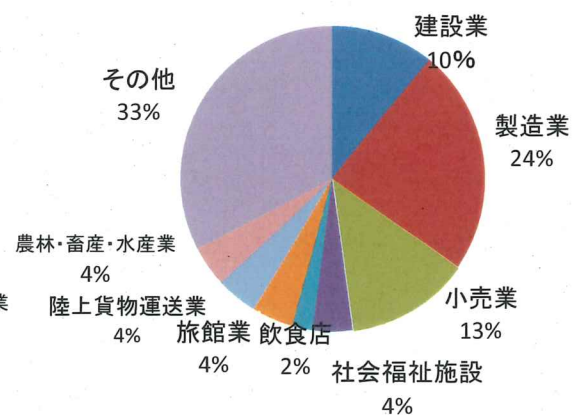
業種	令和8年(1月～6月)			前年同期			前年比較		
	死傷者(人)	構成率		死傷者(人)	構成率		死傷者(人)	増減率	
建設業	8	1	13.1%	5		10.9%	3	1	60.0%
製造業	11	1	18.0%	11		23.9%		1	0.0%
小売業	6	1	9.8%	6		13.0%		1	0.0%
社会福祉施設	6		9.8%	2		4.3%	4		200.0%
飲食店	3		4.9%	1		2.2%	2		200.0%
旅館業	4		6.6%	2		4.3%	2		100.0%
陸上貨物運送業	3		4.9%	2		4.3%	1		50.0%
農林・畜産・水産業	1		1.6%	2		4.3%	-1		-50.0%
農 業				1		2.2%	-1		-100.0%
林 業									-
畜 産 業	1		1.6%	1		2.2%			0.0%
水 産 業									-
通 信 業	1		1.6%				1		-
その他の	18		29.5%	15		32.6%	3		20.0%
全 業 種	61	3	100%	46		100%	15	3	32.6%

(注) データは労働者死傷病報告による。斜め数字は死亡者数(内数)を表す。なお、新型コロナウイルス患者数除く。

グラフ1 業種別構成割合(令和8年1月～6月)



グラフ2 業種別構成割合(前年同期)



速報

令和8年4月から6月までの間に、当署管内において、3件の死亡災害が発生しています！

職場では多種多様な作業が行われており、その実態や特性を的確にとらえた安全衛生対策が必要です。実際にその作業を行う労働者の声をもとに危険の芽(リスク)を見つけ出し、職場全体で災害発生防止対策を講じるようにしてください。

ヒヤリハット活動

でリスクアセスメント

ヒヤリハット活動をやってみましょう。

自身で体験したヒヤリハットや体験したヒヤリハットだけではなく、他の作業者が体験しているのを見たというヒヤリハット、こうなるのではないかと予測したヒヤリハットなどを報告してみましょう。

安全担当者の方は、ヒヤリハット活動を行う機会を設けてください。安全活動や安全教育の機会に行うほか、安全週間の際に実施するなど定期的な実施を試みてください。また、普段から作業にまつわる安全や作業方法などについて社内で話し合える会社の雰囲気・風土づくりが重要です。

ヒヤリハットとは

仕事に、ヒヤッとしたこと、ハッとしたこと、危ないと感じたことはありませんか？

ヒヤリハットとは、危ないことが起こったが幸い災害には至らなかった事象のことです。

リスクアセスメントへ

ヒヤリハットの報告はリスクアセスメントへ活用してください。各報告から災害の程度、災害の可能性などを考慮してリスクレベルを見積もり、優先順位を決定します。リスクアセスメントの結果、危険に対して優先度が高いものから優先的に対策を検討していくことになります。

概おろし作業

危険源	災害の程度	災害の可能性	リスクレベル
階段側にドアが開き転落しかけた	×	△	Ⅲ
取換中に物が大きいので落ちてきた。	△	○	I